



SGH中間発表会（1年生）を開催しました！

12月17日（月）に、SGH課題研究（GSI）「中間発表会」を開催しました。午前の部では鹿児島県で開催される第4回高校生国際シンポジウムの出場を希望する23班の審査会を実施しました。先生方の審査によって平和班、医療班、水班の中からそれぞれ2班ずつ、合計6班の研究をシンポジウムに応募しました。シンポジウム主催者による審査を経て、2班がスライド発表（プレゼンテーション）、2班がポスター発表に出場することが決定しました。国際シンポジウムに出場するメンバーは以下のとおりです。研究成果を存分に発揮し、他校生との交流をとおして研究の改善点を把握し、学びの意欲を高めてほしいと思います。

第4回高校生国際シンポジウム出場！ <2/8（金）～2/9（土）一般社団法人 Glocal Academy 主催>

■スライド発表の部

班	組	氏名	研究テーマ
平和班	1-4	中尾栞緒 橋口日莉	スポーツを通じた国際平和の実現
水班	1-5	成山実優 出口 大	水環境に悪影響を与えない洗剤を作ることはできないのか

■ポスター発表の部

班	組	氏名	研究テーマ
水班	1-4	秋丸貫太 安田虎太郎	牡蠣で海水をきれいにしよう
医療班	1-6	川添天馬 手塚紗那	幼少期の口腔教育の向上

午後からは30班が3つの会場に分かれ、5分間のプレゼンテーションと2分間の質疑応答を行いました。長崎大学の矢野香先生による「プレゼンテーション講座（10月）」で学んだPREP法（Point 結論、Reason 理由、Example 具体例、Point 結論）や、當山明華先生による「ライティング講座（9月）」で学習した事実と意見を混同しない論理的な文章構成を活用した発表が多く見られました。発表を参観されたSGH運営指導委員の先生方（山口大学 陳内准教授、長崎県通訳案内士協会 土井会長、長崎大学グローバル連携機構 山下 機構長特別補佐）からは以下のコメントをいただいています。

- ・長崎の独自性を軸としたグローバルなテーマが多く見られた。
- ・先輩たちの優れた研究を継続しているものもあり、着実に向上している。
- ・生徒からの質問が多くあったことは評価できる。発表技術も向上しているので、「〇〇の点が良かったです」といった講評が生徒同士でできると良い。
- ・発表を聴きながらコメントシートにより相互評価を行い、発表した班へフィードバックを行っていた点も教育的で良かった。コメントシートは評価者の手元に残らないので、手元にメモを残せるようなものがあるとよい。ポートフォリオとしてファイリングすることで自分たちの研究や次の発表へと生かせる。
- ・「フレイルー坂の街の特色ー」についての発表はユニークな着眼点である。研究テーマと発表内容がずれているものもあったが、今回の発表会を振り返ることで軌道修正できるものと思われる。こうした改善につながるものとして中間発表会の意義があると感じる。
- ・「子ども食堂」を発表した班への確かな質問が行われていた。こうした場で質問できる積極性が養われたことはうれしいことである。
- ・スライドについてはよく工夫されていたが、先行研究の部分とオリジナリティの部分に明確に示されるとさらによい。参考文献の提示が例年より充実していたことは評価できる。
- ・2月の本発表に向けて、課題となっている事象の「原因の掘り下げ」に着目してほしい。

中間発表会の様子（写真）と2月25日（月）の本発表「課題研究発表会」でプレゼンテーションを行う各クラスの代表については次号でお知らせします。